

2025年度 交流助成 成果報告（海外派遣）



2026年4月6日

所属：大阪大学大学院

氏名：浅野智紀

会議等名称 Orthopaedic Research Society 2026

開催地 Charlotte, United States

期 日 2026年3月27日－31日

1) 会議（研究会）の概要

本会議は、整形外科および筋骨格系疾患に関する世界最大級の国際学会の一つであり、基礎研究から臨床応用まで幅広いテーマについて議論が行われる国際的な研究交流の場である。毎年米国で開催され、整形外科研究者、臨床医、工学系研究者など2,500名以上が参加している。

2) 会議（研究会）で発表した研究テーマとその討論内容

「Comparison of lower limb muscle characteristics and bone mineral density between femoral neck and intertrochanteric fractures using AI-based CT analysis」というテーマで発表を行った。

本研究では、AIを用いてCT画像から下肢筋を自動抽出し、大腿骨頸部骨折患者と転子部骨折患者における筋肉の特徴および骨密度の違いを比較・検討した。討論では、解析対象の設定や今後の研究展開、臨床応用の可能性について意見交換が行われた。

3) 出席した成果（ご自身の研究のみならず、他の研究者との交流を通じて得たものがあれば具体的に報告して下さい。）

本発表に対して、今後の研究課題として健常群との比較を行うことで、研究の臨床的意義がさらに高まるのではないかと有益な助言を得た。加えて、米国、欧州、中国から参加した研究者に、我々が開発したAIモデルに高い関心を持っていただき、将来的な共同研究も視野に入れた意見交換を行うことができた。これらの成果は、本研究の今後の発展に向けて大変有意義なものであった。

4) その他



私が学会で発表している様子



50人ほどの聴衆がフロアに参加していました



学会が開催された会場前での1枚